

平成28年度 第7回 北諏訪区地域協議会

次 第

日時：平成29年2月28日（火）

午後6時30分～

会場：北諏訪地区公民館 集会室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

【自主的審議事項】

消防団及び自主防災組織のあり方と連携について

【協議事項】

・自主的審議事項について

4 その他

5 閉 会

「北諏訪分団消防団員と北諏訪区地域協議会委員との意見交換会」の 実施について（案）

1 目的

地域の安全・安心を確保するため、有事の際に自分たちの地域を守る消防団員の確保及び、地域の防災活動を行う自主防災組織が機能する体制が整えられるよう、現状を把握した上で課題解決を図ることを目的に、実際に活動している消防団員の現状や課題を確認するため、意見交換を実施するもの。

【議題：消防団及び自主防災組織のあり方と連携について】

2 対象者

- ・北諏訪分団 分団長
- ・ 同上 横曽根消防部長
- ・ 同上 上千原消防部長
- ・ 同上 東中島消防部長
- ・北諏訪地区消防後援会 会長・役員

3 実施時期と場所

- ・3月下旬 夜間 北諏訪地区公民館

4 周知方法

- ・対象者に案内文書を送付

5 意見交換の進め方

- ・地域協議会で出された意見に対して、消防団員から現状を確認すると共に、消防団活動における課題を確認する。

（次第（案）、意見交換の話題（案）は、別紙参照）

6 いただいた意見の取扱いと今後の進め方について

消防団員との意見交換後、その意見を踏まえ、自主防災組織（8町内会長や役員）を対象に意見交換（4月以降）を行う。双方の意見を集約し、その課題解決のため、地域協議会で自主的審議をしていく。

○意見交換の話題（地域協議会で出された課題で確認したいこと）（案）

■意見交換会の目的

北諏訪分団の消防団活動の現状と課題を確認したい。

■意見交換の話題

1 北諏訪分団の消防団員確保の取組について

(1) 団員数について

適当か、不足しているか

(2) 団活動の実態について

実際の活動（有事・訓練）の人員は充足しているか

(3) 団員の勧誘について（勧誘の取組で苦慮していること）

取組方法と実態（団独自、町内等の協力）はどうか

2 消防団との連携について

(1) 消防団が自主防災組織に協力している活動について

- ・活動内容を教えてほしい（消火訓練や消防車による広報活動等）
- ・有事及び消火栓の取り扱い

(2) 消防団への協力について

法律では「消防団は自主防災組織等の教育訓練に指導的立場で関係する」とあるが、団員活動の負担軽減のため、自主防災組織で協力できることはあるか。

3 その他、消防団活動の課題について

(1) 上記の地域協議会で出された課題以外の課題について

- ・団活動におけるいろいろな課題
- ・地域に何を求めるか（協力できる活動など） など

■参考資料（別添）

自主的審議事項「消防団及び自主防災組織のあり方と連携について」参考資料

様式 (委員用)

平成29年2月14日

北諏訪区地域協議会自主的審議に係る提案書

北諏訪区地域協議会
会長 白木 朝雄 様

提案者名 室岡 由美子

下記事項について、上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき、審議するよう提案します。

記

<p>審議する事項</p>	<p>すこやかサロンの継続と組織づくりについて</p>
<p>内容</p> <p>※下記を参考に可能な範囲でご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案理由 ・課題の背景 ・課題の現状 ・今後の見通し ・地域、住民への影響 ・課題が生じている場所 ・期待する効果 等 	<p>【提案理由】</p> <p>国の介護保険改正に伴い、平成27年度から開始した上越市地域支え合い事業の一つとして、北諏訪地区公民館で65歳以上を対象にしたすこやかサロンが開かれている。</p> <p>現在、市から委託された上越市社会福祉協議会が主体となって実施されているが、平成30年度以降はどんな形態で事業が変化していくかわからない状態である。</p> <p>元気な高齢者を目指し、また居場所(通いの場)としてのすこやかサロンを継続していきたい。将来を見据え、地域ぐるみの事業に移行していくことを検討するため、自主的審議に提案するもの。</p> <p>【課題の背景と現状】</p> <p>○上越市地域支え合い事業とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の方が生活している地域で心身の健康保持を図り、互いに支え合いながら病気や身体機能の低下を予防しようとする取組 ・上越市から委託された社会福祉協議会により、平成27年度から公民館で開かれている(発足当初は2、3名の参加者と聞いている)が、平成30年度を目標に、地域として事業を運営できる体制をつくることが求められる。 ・平成28年度現在は、地域住民の方が支援員として参加し、毎週火曜・木曜の週2回実施されている。(参加者は毎回8名ほど) ・事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ◆健康教室(介護予防教室) …月3、4回 健康運動指導士による身体活動 ◆サロン(レクリエーション、茶話会) …月2、3回 栄養・調理実食体験など ◆オレンジ～認知症カフェ～ …月1回 ・参加費100～200円の有償で実施されている。 ・介護職経験者でありながら、ボランティアに近い現在の支援員



【今後の見通し】

1 地域支え合い事業を運営するための体制づくり（北諏訪区8町内全体による組織化）を検討

- ・区全体の組織で運営することにより、介護保険制度と上越市の対応の変化にも柔軟に対応できるのではないかと。
- ・参加者や手伝ってくれる方の募集などの広報活動も行いやすくなる。
- ・現場の要望でもあるが、研修を受けている各町内の健康づくりリーダーや食生活改善推進員、運動普及推進員にも講師としてお願いしやすくなる。

2 北諏訪区の一人暮らしの高齢者などの見守りの検討

- ・民生委員が把握しているかもしれないが、生活上の危険などからの見守りが必要。
- ・支援員とは別の、生活支援コーディネーターが必要になってくる。

【地域、住民への影響・効果】

- ・他地域のすこやかサロンでの話だが、病気で障害を負った高齢者がサロンに参加することで障害が軽くなったという事例がある。

【今後の活動内容】

- ・行政との連絡や交渉など、情報収集をする。
- ・他地域での活動を参考にするために代表者が見学に行く。
- ・現在の運営経費（支援員の時給含む）は、市から受託した社会福祉協議会の委託費用から賄っているが、自主事業となった場合の経費の出所や金額などの調査が必要
- ・サロンに通ってくる方の交通手段としての自家用車とそれに伴う保険は、いずれ必要になる。
- ・楽しいサロンにするために、自分の将来を考えながら皆で知恵を絞ることが必要

資料No.2

北諏訪区の年齢別・行政区別男女人口(平成28年6月30日現在)

(単位:人)

年齢	北諏訪区		
	男	女	計
0～4	35	25	60
5～9	27	33	60
10～14	22	22	44
15～19	34	26	60
20～24	34	29	63
25～29	39	43	82
30～34	50	47	97
35～39	43	36	79
40～44	49	36	85
45～49	41	37	78
50～54	53	63	116
55～59	63	69	132
60～64	92	81	173
65～69	86	64	150
70～74	35	40	75
75～79	36	42	78
80～84	24	36	60
85～89	16	38	54
90～94	6	23	29
95～99	2	7	9
100～	0	0	0
合計	787	797	1,584

(単位:人)

地名	世帯数	人口	男	女
飯塚	8	20	8	12
中真砂	37	119	62	57
川端	17	50	22	28
東中島	92	271	134	137
若鷹	123	353	177	176
上千原	135	403	205	198
福橋下真砂	66	185	90	95
横曽根計	54	181	89	92
合計	532	1,582	787	795

北諏訪区の高齢化率(平成28年6月30日現在)

	人口	高齢者人口(65歳以上)	高齢化率
全市	197,281人	59,323人	30.1%
合併前上越市	131,777人	36,751人	27.9%
北諏訪区	1,584人	455人	28.7%